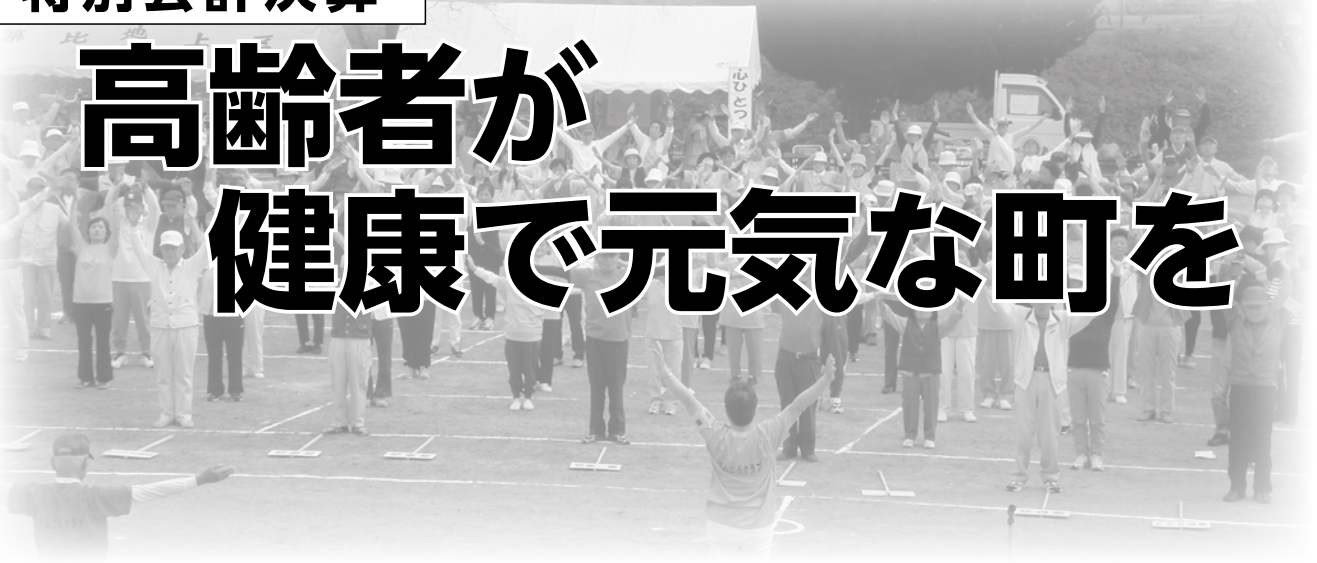


特別会計決算

高齢者が健康で元気な町を



国民健康保険

■ 山崎（正） 医療費の動向、不納欠損はどうか。

■ 住民ほけん課長 受診件数、受診単価ともに増加している。

■ 税務課長 税務課では徴税を一元的に徴収している。滞納額の圧縮対策として分納管理、財産調査を進めている。

■ 南田 財政運営はどうか。又、1人当たりの調定額はどうか。

■ 住民ほけん課長 実質的な数字だけ見るとかなり厳しい。1人当たり調定額は県内で16番目だ。

■ 賛成 新自民クラブ 飯島正雄

国民皆保険として重要な役割を果たしている。一方、退職した高齢者や無職者の増加で財政基盤が弱く、全国で公費化が議論されている。徴収対策の効果はあった。医療費抑制に制度化された特定診断の充実・受診率の向上を望む。

反対

日本共産党 吉田俊一

保険給付費が前年より約1億9千万円の増加だ。担当課は、65歳〜74歳の医療費増加が要因と分析。しかし、歳入も精算分で1億9千万円の増額だ。税の負担が重い。町の軽減する努力が重要だ。

採決の結果

賛成12人	○新自民クラブ 山崎（善）、飯島、山崎（正）、莊子、渡辺
反対2人	○日本共産党 吉田、広沢

介護保険

■ 莊子 給付費の大幅増額の原因は、サービス費の増額だが居宅サービス費の訪問と通所のどちらが多いか。

■ 住民ほけん課長 通所が前年比59%の伸びで短期入所者が24・28%の増、特定施設入居者生活介護が20・39%増、福祉用具貸与が13・68%と増である。

賛成

新自民クラブ 莊子敏一

平成22年度は、介護保険制度がスタートして10年目の年だ。制度の利用者が大幅に増え浸透している。

松伏町の決算を見ると、介護保険制度上、町の独自性を発揮する部分は多くないが、日々の事務処理をしている町の努力を評価し、賛成とする。

反対

日本共産党 吉田俊一

介護給付費の伸びは大きなものとなっているが、高齢者や地域の実情に合った形にサービスがなっていないと感じられる。保険あつて介護なしと言われるように、保険料の負担が高齢者にとって重たい制度を指摘し、反対とする。

採決の結果

賛成12人	○新自民クラブ 山崎（善）、飯島、山崎（正）、莊子、渡辺
反対2人	○日本共産党 吉田、広沢